平成12年 会頭（第16期～第17期）　昭和54年 副会頭（第10期～第16期）　昭和51年 常議員（第９期）　昭和45年 副会頭（第７期～８期）　昭和44年 議員（第６期）

第10期～16期 第３代会頭 滝川松男

第７期～９期 第２代会頭 長谷川末吉

昭27・6	加古川商工会議所 業務開始
昭47・10	加古川産業会館竣工、新会館７階に会議所事務所を移転
昭55・3	創立20周年記念式典・祝賀会を挙行
	加古川市公害防止技術研究会を発展的に解消し、「加古川市環境保全研究会」を結成、会長に就任
昭57・9	創立30周年記念式典・祝賀会を挙行
10	加古川ショッピングデパートがニチイを核にオープン
昭59・2	ダイエーを核店舗にニッケパークタウンがオープン
昭61・3	加古川商工会議所新会館完成（現在地）
昭63・2	イトーヨーカドーを核にグリーンプラザべふがオープン
平元・7	加古川異業種交流会設立総会を開催、代表幹事に就任
9	カビル21が加古川そごうを核にオープン
平4・6	創立40周年記念式典・祝賀会を挙行
平6・7	加古川市環境保全研究会 設立15周年記念式典を開催
平9・4	志方町商工会と合併
5	西支所開所式を挙行
平12・4	滝川松男会頭ご逝去
7	加古川市環境保全研究会 設立20周年式典を開催
8	加古川商工会議所 臨時議員総会
	会頭就任
12	加古川そごう 閉店
平13・3	ヤマトヤシキ加古川店 オープン
	創立50周年、環境・流通問題、活性化の各特別委員会を設置
平14・6	創立50周年記念式典・祝賀会を挙行
平15・6	マリンガ名誉市民受章式
平16・4	アイドリングストップ運動に取り組む
	14部会を７部会に編成替え
	常議員会にて退任を表明

加古川ツーデーマーチでは、オークラ輸送機㈱の社員と一緒に参加者へ飲物をふるまった。（オークラ輸送機㈱提供）

会員の生の声を聞こうと、懇談の場では会員の意見に熱心に耳を傾けた。
（写真は「商業・サービス業関係部会合同懇談会」（平16.3）「新入会員懇談会」（平16.9））

趣味の絵画を楽しむひと時。その作風は温厚な人柄を表すかのように、和らかなタッチで描かれた。（オークラ輸送機㈱提供）

会員企業をアイドリングストップ事業所に認定、熱心に環境保全に取り組んだ（平16.4）

常議員会で会頭として最後の挨拶（平16.9）

生前の功績により旭日小綬章が授与された（令4.7）

記念式典であいさつに立つ（平14.6）

加古川異業種交流会設立総会（平元.7）

マリンガ名誉市民受章式（平15.6）

２０２２年（令４）10月14日、加古川プラザホテルにおいて「お別れの会」が開催され地元経済界関係者などが参列しました。弔辞は衆議院議員　渡海紀三朗氏と、氏が会頭時代に副会頭として補佐したハリマ化成グループ㈱代表取締役社長　長谷川吉弘氏（当所第６代会頭）が捧げました。

（写真は全てオークラ輸送機㈱提供）

弔辞を読むハリマ化成グループ㈱の長谷川吉弘氏。祭壇で微笑む大庫氏の写真を前に思い出を語り掛けた。

会場内には氏の生い立ちや功績を紹介するパネルなどが設置され、それらを前に思い出を語り合った。

故　大庫典雄様　追悼の辞

2022年10月14日お別れの会にて（原文のまま）

大庫さん、私が社会人になる前から、地元の名経営者としてお名前もお顔も存じ上げていましたが、大庫さんから直接お話しを聞くことが出来たのは、加古川青年会議所で地元の先輩経営者として講演されたときでした。今から40年程前でした。

その時、大庫さんは「自分の会社をどういう会社にしたいのか、トップははっきりとしたイメージを持っているべきだ。また、社員の電話の応対の仕方まで社長に似てくるものだ」といわれたことを今でもよく覚えています。

爾来、商工会議所などの関係で、直接薫陶を受ける機会も多く、人生について、経営について、多くのことを教えていただいたことは私にとってかけがえのない宝です。

永年にわたって加古川商工会議所副会頭、会頭を務められましたが、その間、加古川市環境保全研究会・加古川異業種交流会の設立、加古川駅前そごう撤退のあとヤマトヤシキを誘致するなど数多くのご功績を残されました。

私も大庫会頭のもとで副会頭を務めさせていただき、身近に会や組織の運営について教えていただきました。

加古川商工会議所では、会員にとって「マイ会議所」となることをめざして会員の参画を呼びかけ、また職員には3000を超える全会員企業を直接訪問し、要望を聴取するように指示されました。まさに モットーである「現場主義」を実践されたものでした。

商工会議所の運営を先導され、地元経済の発展につくされただけでなく加古川納税協会会長、兵庫県公安委員を務められるなど社会的な貢献、役割も果たされました。

また 加古川市の姉妹都市、ブラジル マリンガ市から名誉市民の称号を贈られるなど、国際交流にも貢献されました。

ご本業のオークラ輸送機では、創業者で、またコロコンキャリヤーの発明者である父上 大庫源次郎様の後を継がれ、事業を大きく発展させ今や、物流機器・物流システムの有数の優良企業に育てられました。

ご自身で、特許45件、実用新案110件もの発明・考案をされるなど、まさに率先垂範して物流機器の開発育成にあたってこられた賜です。

温厚円満なお人柄で、あの独特の笑顔で「なぁ頼むわ」と言われれば断れる人はいなかったと思います。

晩年は車いすでお会いすることが多かったですが、いつも笑顔の大庫さんのまわりには、和やかな人の輪ができていたことが思い出されます。

いろいろ想いはつきませんが、また、お会いする時まで、しばしのお別れの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

２０２２年10月14日　長谷川　吉弘

（ハリマ化成グループ㈱ 代表取締役社長、加古川商工会議所 第6代会頭）